

No. 01 **びわまる (BIWAMARU)**

コンセプト
 びわまるは、「キャンパスは緑地、テキストは人間」という思いのもと、人と自然、地域、世界と学びをやさしくつなぐ存在としてデザインしました。びわまるのデザインは、調和やつながり、人間を中心とした学びの広がりを感じさせます。シンプルで親しみやすいデザインにより、多様な人々に受け入れられ、学びの輪を「まるく」広げていくことを表現しています。

滋賀県立大学

No. 02 **びーすくん**

コンセプト
 県立大学に生息しているカモをモチーフに、県大のシンボルマークを取り入れてデザインしました。頭はカモのデザインにこだわりました。イメージとしては、羽や足はカモのデザインから、アクセントカラーの水色はシンボルマークと同じ緑色の水色をイメージしています。多くの人に親しみやすいため、顔はシンプルですが、パウパウと可愛らしい表情が、多様な人々に受け入れられ、学びの輪を「まるく」広げていくことを表現しています。

滋賀県立大学

No. 03 **シガモン**

コンセプト
 大学にゆかりのあるカモをベースに、見た目が「滋賀県立大学」を取り入れてデザインしました。カモのデザインにこだわりました。イメージとしては、羽や足はカモのデザインから、アクセントカラーの水色はシンボルマークと同じ緑色の水色をイメージしています。多くの人に親しみやすいため、顔はシンプルですが、パウパウと可愛らしい表情が、多様な人々に受け入れられ、学びの輪を「まるく」広げていくことを表現しています。

滋賀県立大学

No. 04 **ルーリィ**

コンセプト
 「鳥のように羽ばたいて、マクロからミクロの視点を持つ人」という思いを込めて、カモのデザインにこだわりました。イメージとしては、羽や足はカモのデザインから、アクセントカラーの水色はシンボルマークと同じ緑色の水色をイメージしています。多くの人に親しみやすいため、顔はシンプルですが、パウパウと可愛らしい表情が、多様な人々に受け入れられ、学びの輪を「まるく」広げていくことを表現しています。

滋賀県立大学

No. 05 **カモえんぴつ**

コンセプト
 県に大学館をかり、背中に入っぴつ筒を背負ったカモが、大学の特色や地域性を表し、親しみやすいデザインに仕上げました。

滋賀県立大学

No. 06 **しがもー**

コンセプト
 滋賀県のカモをベースに、県大の基本カラーにこだわった「キャンパスは緑地、テキストは人間」をテーマに取り入れました。頭に緑色の鳥の形、口は「は」の形、頭の上に黄色のロゴマークである波の立ちもが表されています。

滋賀県立大学

No. 07 **カモガモ**

コンセプト
 滋賀県のカモをベースに、県大の基本カラーにこだわった「キャンパスは緑地、テキストは人間」をテーマに取り入れました。頭に緑色の鳥の形、口は「は」の形、頭の上に黄色のロゴマークである波の立ちもが表されています。

滋賀県立大学

No. 08 **けんだっく**

コンセプト
 滋賀県立大学でよく見られ、学生たちからも愛されているカモと県大の魅力である四季折々の自然の豊かさをコンセプトとした。

滋賀県立大学

No. 09 **しがまる**

コンセプト
 滋賀県立大学のシンボルである「えんぴつ筒」をモチーフに、琵琶湖とともなび、地域とつながる姿を表現したキャラクターです。頭にはキャンパスをイメージし、水と共生する大学の象徴を表現しています。頭には琵琶湖の波をモチーフに、学びと地域とのつながりを表現しています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 10 **しがも**

コンセプト
 「県大のシンボルであるカモ」をモチーフに、琵琶湖とともなび、地域とつながる姿を表現したキャラクターです。頭にはキャンパスをイメージし、水と共生する大学の象徴を表現しています。頭には琵琶湖の波をモチーフに、学びと地域とのつながりを表現しています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 11 **かもべえ**

コンセプト
 県立大学名前のカモと近江商人のイメージを融合させた。近江商人イメージは、「キャンパスは緑地、テキストは人間」のモチーフと「カモ」を融合させて、背中に大きなカモをモチーフにしたカモをデザインしました。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 12 **びわっち**

コンセプト
 琵琶湖は「琵琶の水」と呼ばれ、多くの地域の暮らしを支える存在です。その水は琵琶湖を流れて、川や海へとつながります。その水は琵琶湖を流れて、川や海へとつながります。その水は琵琶湖を流れて、川や海へとつながります。

滋賀県立大学

No. 13 **かると**

コンセプト
 かるとのモデルは県大でよく見るカモである。黄色のフロックは、かるとのイメージを表現しています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 14 **シガモ**

コンセプト
 ミュージックビデオの「カモベイト」や、HPの30周年イラストにある「カモ」から、カモをモチーフにしています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 15 **かもた**

コンセプト
 もっちりとしたフォルムとまんまるな顔で誰からも愛されるキャラになるようデザインしました。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 16 **かんと**

コンセプト
 滋賀県立大学の自然環境や学びの魅力を表現するキャラクターとして、琵琶湖とともなび、地域とつながる姿を表現したキャラクターです。頭にはキャンパスをイメージし、水と共生する大学の象徴を表現しています。頭には琵琶湖の波をモチーフに、学びと地域とのつながりを表現しています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 17 **えんぴつくん**

コンセプト
 滋賀県立大学のシンボルといえば、「えんぴつ筒」。それは、地域の文化や歴史、そして未来を担っていく人々の姿を象徴しています。頭にはキャンパスをイメージし、水と共生する大学の象徴を表現しています。頭には琵琶湖の波をモチーフに、学びと地域とのつながりを表現しています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 18 **みどまる**

コンセプト
 県大のシンボルであるカモをモチーフに、琵琶湖とともなび、地域とつながる姿を表現したキャラクターです。頭にはキャンパスをイメージし、水と共生する大学の象徴を表現しています。頭には琵琶湖の波をモチーフに、学びと地域とのつながりを表現しています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 19 **カモべえ**

コンセプト
 県大でよく見られるカモをモチーフに、琵琶湖とともなび、地域とつながる姿を表現したキャラクターです。頭にはキャンパスをイメージし、水と共生する大学の象徴を表現しています。頭には琵琶湖の波をモチーフに、学びと地域とのつながりを表現しています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 20 **しがもん**

コンセプト
 しがもんは、琵琶湖の「しが」と「もん」とを組み合わせたキャラクターです。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 21 **びわしょう先生**

コンセプト
 滋賀県立大学のシンボルである「えんぴつ筒」をモチーフに、琵琶湖とともなび、地域とつながる姿を表現したキャラクターです。頭にはキャンパスをイメージし、水と共生する大学の象徴を表現しています。頭には琵琶湖の波をモチーフに、学びと地域とのつながりを表現しています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 22 **ねるべる**

コンセプト
 シルエットは滋賀県立大学の校章をモチーフに、琵琶湖とともなび、地域とつながる姿を表現したキャラクターです。頭にはキャンパスをイメージし、水と共生する大学の象徴を表現しています。頭には琵琶湖の波をモチーフに、学びと地域とのつながりを表現しています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 23 **かもびい**

コンセプト
 本学周辺にも多く見られるカモをモチーフに、「自然のなかで学ぶ」をテーマにデザインしました。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 24 **アユカモ**

コンセプト
 滋賀県立大学のシンボルであるカモをモチーフに、琵琶湖とともなび、地域とつながる姿を表現したキャラクターです。頭にはキャンパスをイメージし、水と共生する大学の象徴を表現しています。頭には琵琶湖の波をモチーフに、学びと地域とのつながりを表現しています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 25 **けんさくるん**

コンセプト
 キャンパスそのものを全身で表現した、「学内マップ」です。頭にはキャンパスをイメージし、水と共生する大学の象徴を表現しています。頭には琵琶湖の波をモチーフに、学びと地域とのつながりを表現しています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 26 **かもっぱ**

コンセプト
 県大のシンボルであるカモをモチーフに、琵琶湖とともなび、地域とつながる姿を表現したキャラクターです。頭にはキャンパスをイメージし、水と共生する大学の象徴を表現しています。頭には琵琶湖の波をモチーフに、学びと地域とのつながりを表現しています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 27 **えんぴつとうちゃん**

コンセプト
 県大のシンボルであるカモをモチーフに、琵琶湖とともなび、地域とつながる姿を表現したキャラクターです。頭にはキャンパスをイメージし、水と共生する大学の象徴を表現しています。頭には琵琶湖の波をモチーフに、学びと地域とのつながりを表現しています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 28 **シーガー**

コンセプト
 滋賀県立大学のシンボルである「えんぴつ筒」をモチーフに、琵琶湖とともなび、地域とつながる姿を表現したキャラクターです。頭にはキャンパスをイメージし、水と共生する大学の象徴を表現しています。頭には琵琶湖の波をモチーフに、学びと地域とのつながりを表現しています。また、県大のシンボルマークである波の立ちもが表現されています。

滋賀県立大学

No. 29 **大発見大ちゃん**

コンセプト
 県大の地図をカモの甲羅に見立てた。亀甲模様の背中の地図が見え隠れするため、まだカモもスッポンの方が顔がとんがって可愛らしい。また、二ホンイシガメではなく二ホンスッポンをモチーフにした。

滋賀県立大学

No.
01

びわまる(BIWAMARU)



コンセプト

びわまるは、「キャンパスは琵琶湖、テキストは人間」という思いのもと、人と自然、地域、世界と学びをやさしくつなぐ存在としてデザインしました。

びわ湖のしずくから生まれた丸いフォルムは、調和やつながり、人間を中心とした学びの広がりを象徴しています。シンプルで親しみやすい造形により、多様な人々に寄り添いながら、学びの輪を“まるく”広げていくことを表現しています。

No. 02

ぴーすくん

ぴーすくん

USP
ひっくりかえして
PSU
ぴーす

県大のロゴマーク左側をイメージした前髪(毛)

えんぴつ塔モチーフのさんかくぼうし

県大のロゴマーク右側をイメージした羽

カモの男の子。
あっとり優しい性格。
県大のみんなのことが大好き!



環境に任んでいる草のかげでお昼寝するのが好き



人と過ごすのが大好きで、授業にまぎっていることもある

コンセプト

県立大学に生息しているカモをモチーフに、県大のシンボルマークを取り入れてデザインしました。頭の帽子はえんぴつ塔のてっぺんをイメージしています。羽やくちばしの色はえんぴつ塔から、アクセントカラーの水色はシンボルマークと同じ琵琶湖の水をイメージしています。多くの人に親んでもらうため、顔立ちはシンプルですがバランスにこだわっています。また、シンプルなデザインでイベントの際などさっと絵に描きやすいことも考えました。

No.
03

シガモン



コンセプト

大学にゆかりのあるカモをベースに、見た目から「滋賀県立大学」をイメージできる、親しみやすいキャラクターデザインにこだわりました。帽子は校舎の特徴的な屋根、ネクタイはアユをモチーフにデザイン。くせ毛は、琵琶湖の「波紋」「波」をモチーフに大学のシンボルマークから着想を得ました。色は琵琶湖ブルーと校舎の色を基調に、水環境をイメージできる配色でデザインしました。

No.
04

ルーリィ

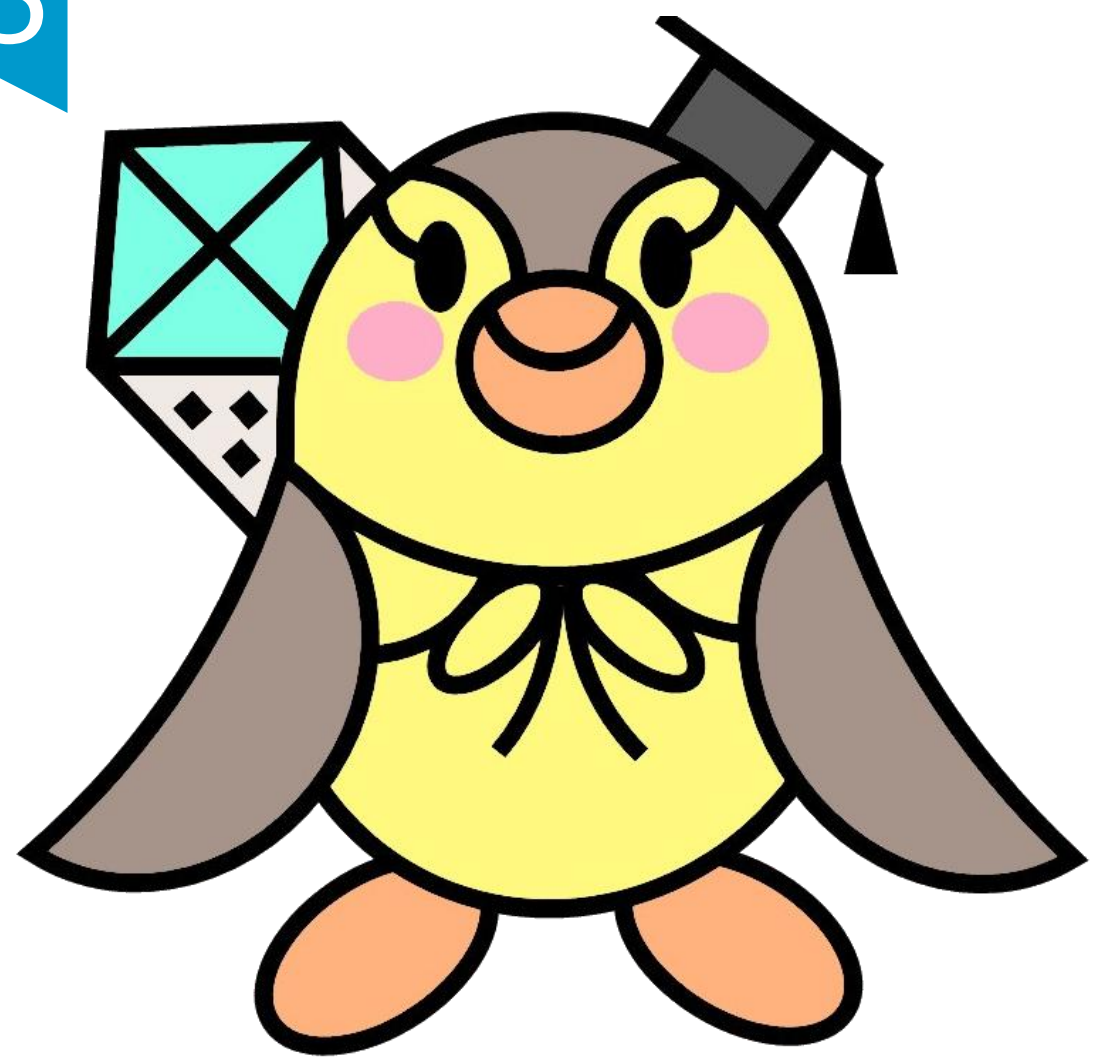


コンセプト

「鳥のように羽ばたいて、マクロからミクロの視点を持つ人に」という願いを込めて、カモの子供をイメージの基本とし、貴校のロゴマーク(円形と3つの波型長方形のオブジェクト)をヒントに全体を構成しました。ベースカラーはロゴマークの青と地球をイメージする瑠璃色、その中間色を使い、頭部の毛には、赤(火・情熱)、黄(風・知識)、緑(地・豊穡)を差し色で使用、青(水・冷静)と合わせて、四元素の色でまとめています。目の中の光は感嘆符の形をしており、探究、関心による発見や感動を表しています。

No.
05

カモえんぴつ



コンセプト

頭に大学帽をかぶり、背中にえんぴつ塔を背負った雛のカルガモ。大学の特色と地域性を備えた、親しみやすいデザインに仕上げました。

No.
06

しがもー

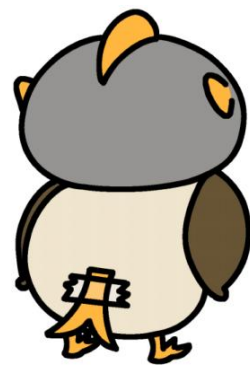


コンセプト

滋賀県のカモをベースに、貴学の基本姿勢にございました「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間」をキャラに取り入れました。胸に琵琶湖の形の毛色、口ばしは「人」の形、頭の上に貴学のロゴマークである波紋の立ち毛があります。可愛さと親しみやすさも重視しました。

No.
07

カモガモ



コンセプト

滋賀県の自然の豊かさを表すため、鮎とカルガモを組み合わせたデザインにした。学生の方々や地域の方々に親しみを持ってもらえるよう、顔と色合いは柔らかな印象に。名称や尾ひれのデザインは、見た人が思わずクスッと笑うような、ユーモアのあるあふれる雰囲気を意識した。

No.
08

けんだつく



コンセプト

滋賀県立大学でよく見られ、学生たちからも愛されているカモと県大の魅力である四季折々の自然の豊かさをコンセプトとした。

No.
09

しがまる



コンセプト

滋賀県立大学のシンボルである「えんぴつ塔」をモチーフに、琵琶湖とともに学び、地域とつながる姿を表現したキャラクターです。

腰のリングはキャンパスを囲む環濠をイメージし、水と共生する大学の景観を表しています。

胸の大学ロゴや指示棒の琵琶湖のモチーフにより、学びと地域とのつながりを親しみやすく表現しました。

大きな目とやわらかいフォルムで幅広い世代に親しまれ、シンプルな造形により多様な媒体で活用しやすいデザインとしています。

No.
10

しがも



コンセプト

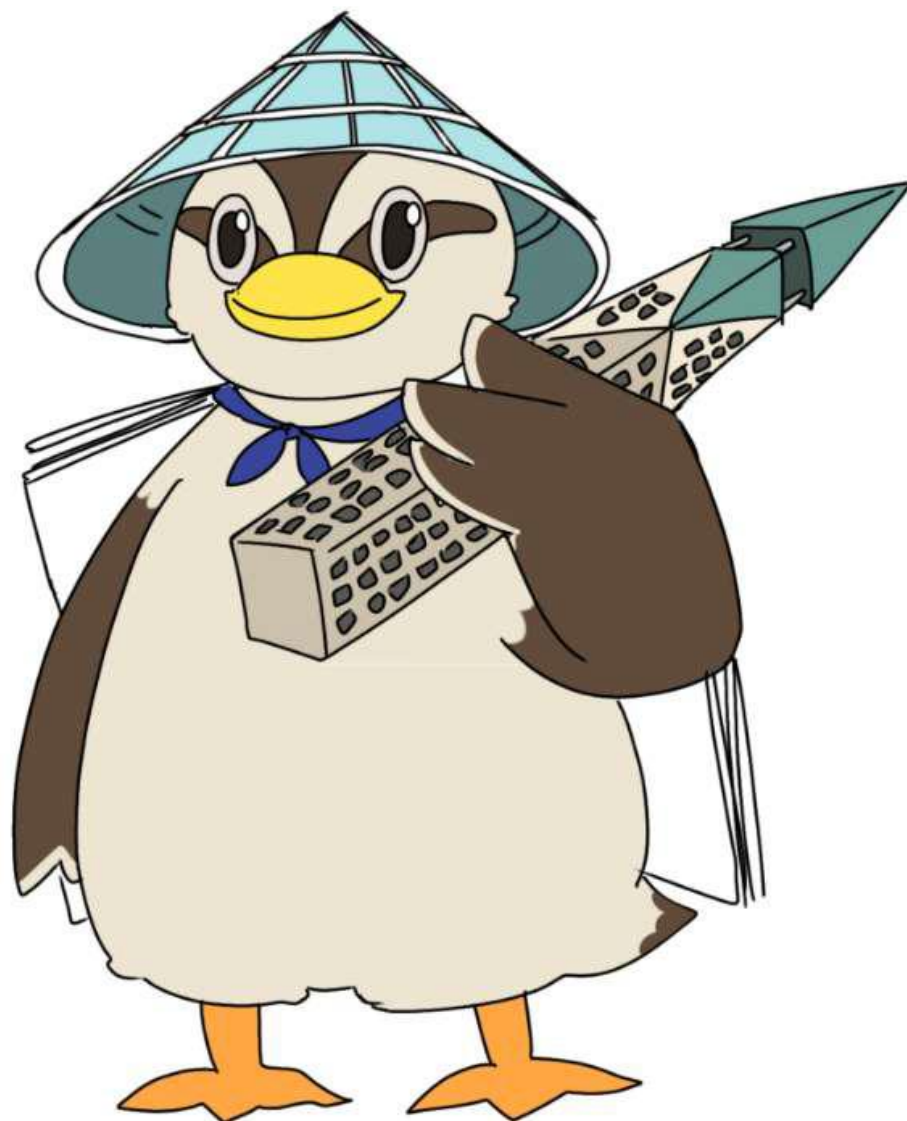
「県大の環濠から、県大で学ぶすべての人々の学びを見守っているカルガモ」。

滋賀県立大学の特徴である、キャンパスを囲む「環濠」。そこに実際に生息し、学生や教職員に愛されているカルガモをモチーフにしました。お腹に「琵琶湖」を抱えることで、県大が滋賀の知の拠点であることを表現。中を泳ぐ2匹の小鮎には、琵琶湖の豊かな生態系と、生き生きと学ぶ人々の姿を投影しています。

ナチュラルな配色はモダンで落ち着いたキャンパス建築を、丸みを帯びたフォルムは学生の心を癒やす優しさをイメージしました。

No.
11

かもベえ



コンセプト

県立大学名物のカルガモと近江商人のイメージを融合させた。近江商人イメージは、「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」のモットーと「鴨が葱を背負って来る」をかけて、背中に大きな本を背負ったカルガモが知識を人に広めるというキャラクターにしたため。頭の傘は図書情報センターの屋根、てんびん棒ではなくえんぴつ塔を担いでいる。

No.
12

びわっち



コンセプト

琵琶湖は「近畿の水瓶」と呼ばれ、多くの地域の暮らしを支える存在です。その言葉から着想を得て、水瓶をモチーフにキャラクター化しました。頭の水瓶は琵琶湖を表し、その中の水は知識や学びを象徴しています。知識があふれる様子を水が少し跳ねているようにデザインすることで、学びやひらめきの広がりを表現しました。耳は水瓶の取っ手をイメージし、体には琵琶湖の波と湖岸をモチーフにした模様を入れ、胸には大学のイメージロゴを取り入れています。

自然や地域社会とともに学びを深める「びわ湖キャンパス」の理念を表し、滋賀県立大学の学びが琵琶湖のように豊かに広がっていくことを願いデザインしました。

No.
13

かるも



コンセプト

かるものモデルは県大でよく見るカルガモである。胸元のブローチはやさしさや環境を感じられる花にした。青が環境科学部、赤が人間文化学部、黄色が人間看護学部、紫が工学部を表し、花びらの数で学科の数を表している。帽子は県大のえんぴつ塔を表し、おなかのなみ模様は琵琶湖や環濠を表している。ぎゅっと抱きしめたくなるようなフォルムにした。

No.
14

シガモ



コンセプト

ミュージックビデオの「カモベイビー」や、HPの30周年イラストにある「カモ」から、カモをモチーフにしています。
大学管理棟(図書情報センター)の「三角すいの窓」をモチーフにした帽子をかぶっています。

No.
15

かもた



コンセプト

もっちりとしたフォルムとまんまるな瞳で誰からも愛されるキャラになるようデザインしました。

全体のカラーを滋賀県立大学のロゴマークのカラーにすることで、爽やかな琵琶湖のイメージや滋賀らしさを感じられる見た目にしました。また、胸元に琵琶湖の波や風をイメージした模様を入れたり、葉っぱを模したスカーフにしたりすることで滋賀の自然の豊さを表現しました。背面のスカーフにはワンポイントとして、滋賀県立大学のロゴを入れました。

No.
16

かんも



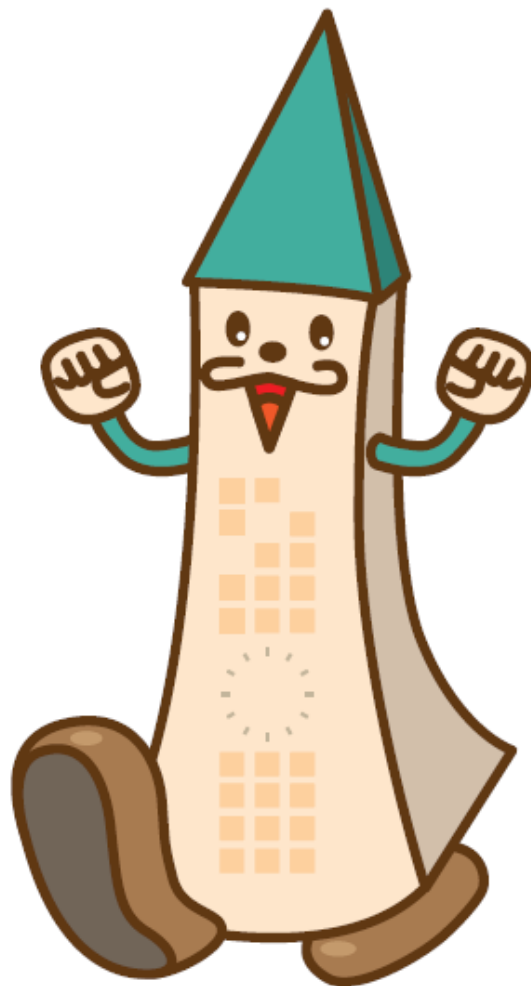
コンセプト

滋賀県立大学の自然環境や学びの魅力を表現するキャラクターとして、琵琶湖に生息するカルガモをモチーフにデザインしました。

カルガモの模様は大学のシンボルカラー「琵琶湖ブルー」に置き換え、地域とのつながりや水との関係性を表現しています。頭にはえんぴつ塔をモチーフにした帽子をかぶせ、そのつばには環濠をイメージしたリングを取り入れ、滋賀県立大学の特徴的な景観を象徴しています。体には大学ロゴを配置し、丸みのあるシルエットと大きな目で幅広い世代に親しみやすいデザインとしました。

No.
17

えんぴつくん



コンセプト

滋賀県立大学のシンボルといえば、「えんぴつ塔」。それは、地域の人々にとって(作者も含めて)、湖岸を走れば「もうここまで来たんだ!」「あの塔が見えたから滋賀県立大学だ!」と目じるしになっていたり滋賀県立大学で学びたいという子供達の目標としての位置付けもあると考え、キャラクターのモチーフにしました。

手には、各学部の象徴的なものを持たせる、地域とのコラボ商品などを持たせるなど、色々展開はしやすいのではと考えています。お腹の時計はあえて針は入れないで、デザインの一部として使っていますが、実際かぶりものを作るときは、時計が動くようにしても面白いと思います。

裾が広がっているのは、貴校が地域に根ざしてこられた意味合いも持たせています。

No.
18

みどまる



コンセプト

構内でアイドル的に可愛がられているカモをモチーフにし、生徒、教職員、並びに周辺の方々からも愛されるキャラクターを目指しました。大学のキャラクターなので、教職員に憧れているという設定をしています。

緑色の体は、県大の魅力である緑豊かなキャンパスを表しています。また、公共建築百選に選ばれているキャンパスの中でも、特徴的な建物であるえんぴつ塔をキャラクターの一部にすることで、滋賀県立大学でしかないオリジナリティを出すことに成功していると思います。

No.
19

カモベえ



コンセプト

県大で愛されているものの代表である「カルガモ」と、象徴的な建物である「えんぴつ塔」を組み合わせ、滋賀県立大学のキャラだと一目で分かるようにしました。

表情と色味を柔らかくし、見た人の気持ち气和むようにしています。県大に通う学生の年齢層はもちろん、出入りする人々の年齢層も広いので、曲線を多く取り入れることで可愛らしさを増やし、幅広い年代に受け入れられやすくしました。えんぴつ塔は着脱可能で、筆記具のように使えます。頭の毛は、県大へ向かう際に琵琶湖からの向かい風を受けてなびきます。(シンボルマークの右部分をイメージ。琵琶湖や自然が身近にあることを知ってほしくて入れました。)

No.
20

しがもん



コンセプト

しがもんは、琵琶湖のしずくから生まれた不思議なカモの妖精です。滋賀県立大学のランドマークである「えんぴつ塔」と琵琶湖に生息する身近な存在である「カモ」をモチーフにデザインを行いました。滋賀県・琵琶湖の豊かな自然環境によって滋賀県立大学が支えられており、学生や地域の人々の学びが育まれていることを表現しています。

No.
21

びわしょう先生



コンセプト

滋賀県立大学のほど近くに広がる琵琶湖は、湖だけでなく川や森とつながる大きな生命圏です。キャラクターは、その清流の象徴であるオオサンショウウオをモチーフにしました。環境科学を核に工学・人間文化・看護など多様な学びがつながり、地域とともに未来を考える大学の姿を表現しています。

No.
22

ねるべる



コンセプト

シルエットは滋賀県立大学様の校舎参考とさせていただきデザインいたしました。塔のような特徴的な校舎の2連の屋根が帽子と羽織を被ったキャラクターに見え、今回のキャラクターに見立てました。

メインモチーフとしてヤギを選んだ理由については、滋賀県立大学様の方で生徒方に愛され今も飼われていることと、素敵な校歌とキャラクターを結びつketく、「ねるべる」が首もとのベルを鳴らしながら、めいめいと校歌を口ずさんでいる様子が想像できた為、選ばせていただきました。

No.
23

かもびい



コンセプト

本学周辺にも生息するカルガモをモチーフにし、「自然のなかで学ぶこと」を体現するキャラクターとしてデザインした。

①帽子:山の葉をモチーフにした形状。画家がよく被るベレー帽のような丸みを帯びている。

②お腹の模様:琵琶湖の波をモチーフにした形状。帽子と合わせて琵琶湖と山々に囲まれた場所に大学が立地していることを象徴している。

③スケッチブック:多様な学び・観察・研究を表現。SNSを始めとした広報ではスケッチブックの中身を変えることで様々な表現が可能。

④背中の大きなえんぴつ:滋賀県立大学の象徴的な建築「えんぴつ塔」から着想。彦根の武士文化に憧れ、刀のように背負っている設定。

⑤スカーフ:本学学生(生活デザイン学科想定)にプレゼントしてもらった大事なものの。

No.
24

アユカモ



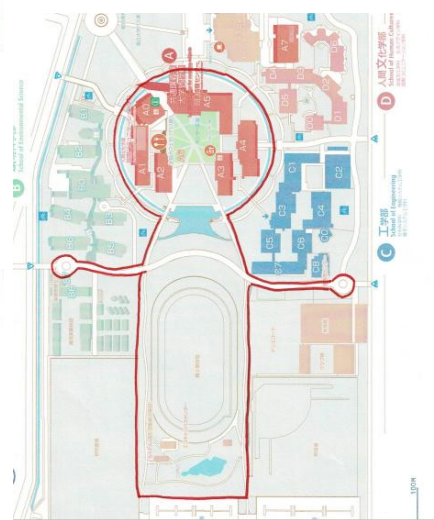
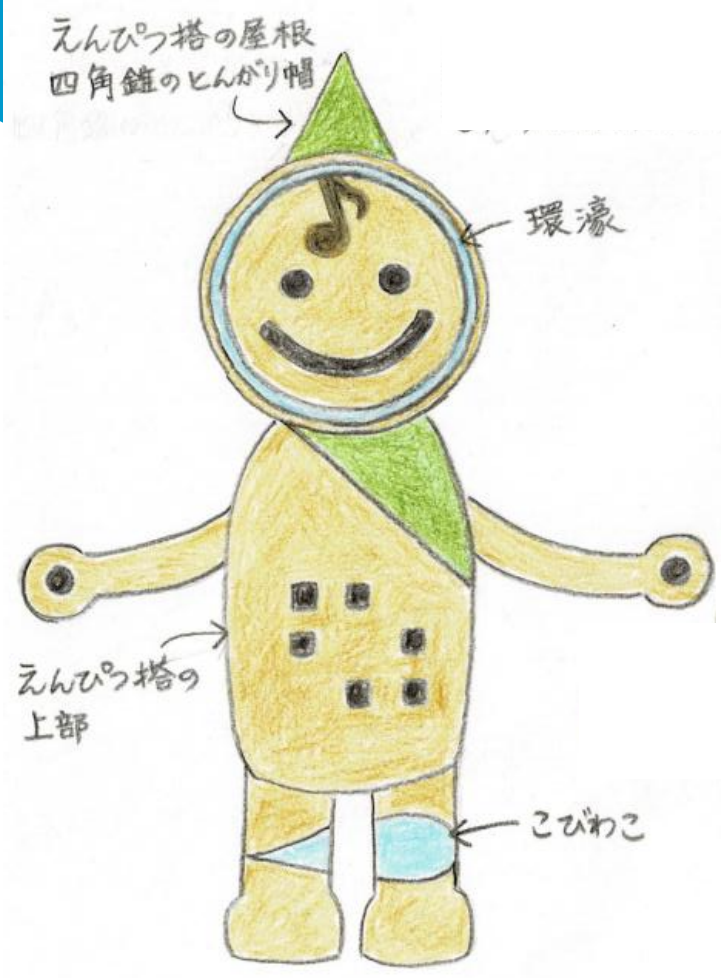
コンセプト

滋賀県立大学の豊かな水辺の自然を象徴する「鮎」と「鴨」をモチーフに、親しみやすくやさしい印象のキャラクターとしてデザインしました。

丸みのあるフォルムとシンプルな構成で、幅広い世代に愛されることを目指しています。また、着ぐるみとしての展開も考慮したデザインとしています。

No.
25

けんさくるん

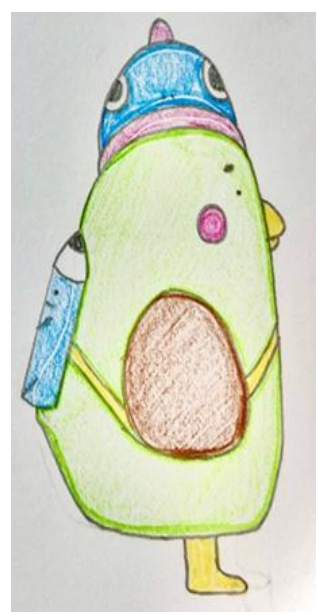


コンセプト

キャンパスそのものを全身で表現した。「歩く学内マップ」です。頭のえんぴつ塔、顔の環濠、足元の「こびわこ」と、キャンパスそのものを全身で表現しています。

No.
26

かもっぺ

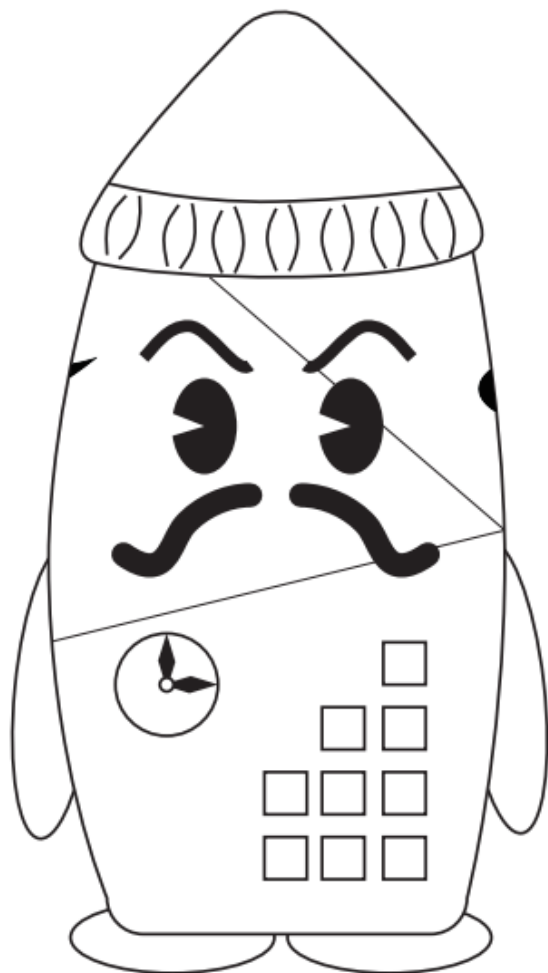


コンセプト

県大に沢山遊びに来ているカモがベース。頭にはアユを被り、背中にはえんぴつ塔を模したえんぴつくんが背負われている。

No.
27

えんぴつとうちゃん



表情：オコ(きほん型)



スマイリー



びわこ涙



スキ

コンセプト

県大一のシンボルをモチーフに、ゆるキャラ風に仕立て上げました。着ぐるみを想定して手足をつけていますが、グッズや二次元への展開のしやすさを考慮して手足がなくても可愛らしく見えるようシンプルな形状としました。とくに意識したのは、たくさんの県大生に日々の学生生活のおともとして愛されるよう、通学カバンにぶらさげてもらいやすい、もふもふとした手触りのぬいぐるみキーホルダーにしやすい形であることです。髪型は、県大のシンボルマークを模したトラ柄スタイルで押し出し感のあるイケオジの印象を強めるとともに、県外出身者も多い県大生に関西圏のノリを楽しんでもらえるようにしました。

No.
28

シーガー



コンセプト

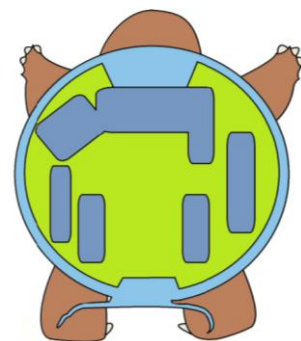
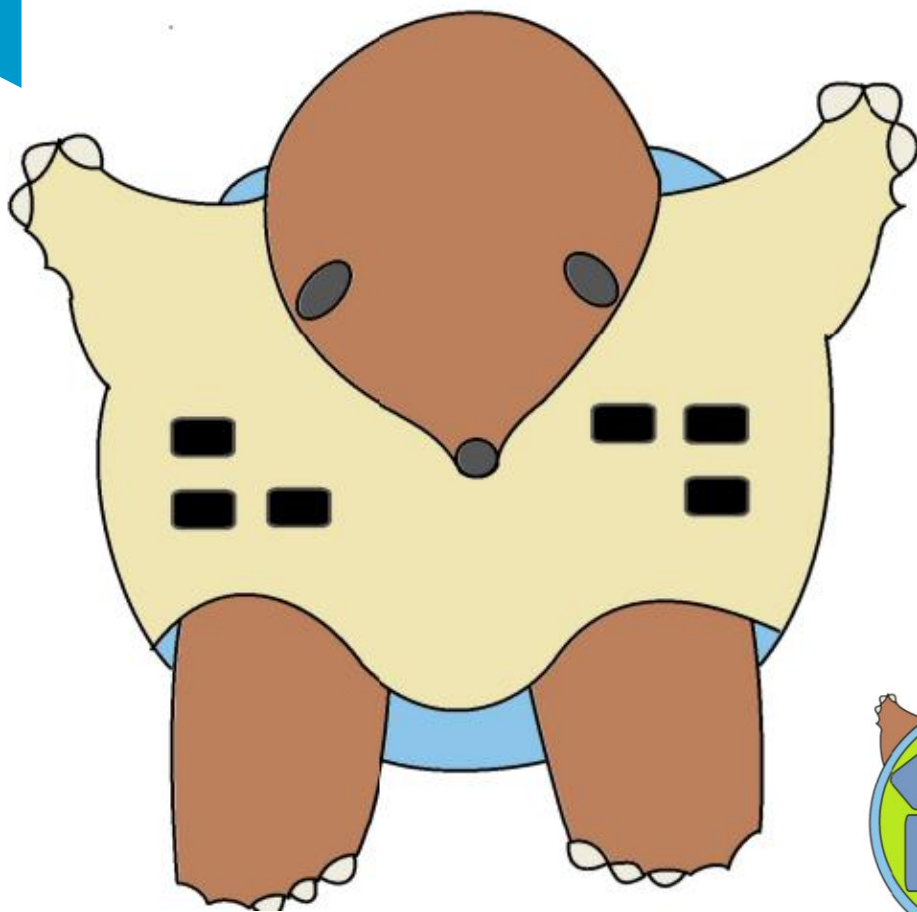
滋賀県立大学や滋賀をイメージする『カルガモ』『琵琶湖』『滋賀県立大学校舎』などモチーフに制作致しました。

全体像はカルガモ。校舎型の帽子を学帽替わりに愛用。
お腹の模様は琵琶湖デザインです。

翼の色はシンボルマーク『琵琶湖ブルー』を反映致しました。

No.
29

大発見大ちゃん



コンセプト

- ・県大の地図をカメの甲羅に見立てた。亀甲模様だと背中中の地図が見えにくくなるため、まだカメよりもスッポンの方が顔がとんがっていて鉛筆っぽいため、ニホンイシガメではなくニホンスッポンをモチーフにした。
- ・甲羅の輪郭は県大の内堀と同じ形状になっている。
- ・爪が内側3本ずつしかないことなどニホンスッポンの特徴をそのままデザインに反映、ただし足の地面側の色はデザイン上の都合で上下ともに茶色にした。
- ・体の模様は鉛筆塔の窓のデザインをモチーフ。
- ・県大の大でもあり、大ちゃんの大でもある「大の字ポーズ」が映えそうなデザイン。
- ・顔はみんなが笑顔になりそうなやさしい顔をイメージした。